

令和3年度第2回 横浜市外郭団体等経営向上委員会会議録	
日 時	令和3年8月27日（金）[13:30~17:00]
開催場所	横浜市庁舎18階 共用会議室 さくら13
出席者	鴨志田委員長、碓井委員、田邊委員、戸田委員、治田委員
欠席者	なし
開催形態	公開（傍聴者なし）
議 題	<p>○総合評価等について</p> <p>[議題1] 公益財団法人横浜市総合保健医療財団</p> <p>[議題2] 社会福祉法人横浜市社会福祉協議会</p> <p>[議題3] 公益財団法人横浜市資源循環公社</p> <p>[議題4] 横浜市場冷蔵株式会社</p> <p>[議題5] 公益財団法人横浜市消費者協会</p> <p>[議題6] 一般社団法人横浜みなとみらい21</p> <p>[議題7] 株式会社横浜シーサイドライン</p> <p>[議題8] 公益財団法人帆船日本丸記念財団</p> <p>[議題9] 横浜ベイサイドマリーナ株式会社</p> <p>[議題10] 横浜ウォーター株式会社</p> <p>[議題11] 横浜交通開発株式会社</p> <p>[議題12] 公益財団法人横浜市シルバー人材センター</p>
決定事項	・各団体の総合評価シート等に対する委員会からの確認事項等を決定し、次回審議で所管課及び団体からの回答の確認、暫定評価の決定をすることとした。
議 事	<p>[議題1] 公益財団法人横浜市総合保健医療財団</p> <p>1 総合評価等の実施について</p> <p>（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合評価シートに基づく自己評価について説明 ・協約等（素案）について説明 <p>2 委員からの意見・確認事項</p> <p>（治田委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（協約等（素案）の「公益的使命の達成に向けた取組」にある）②「高齢者支援」や③「精神障害者支援」は指標が限定的になっている様に思えるが、この目標がどのような経緯で設定されたのか、これがどの様に経営の向上に繋がるのかを教えてほしい。 <p>（戸田委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料を読むと、当該団体では様々な業務を行っているが、協約は主要な目標を選んで掲げるイメージで間違いないか。 <p>（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その通りで、各団体では多岐に渡る事業を担う中、特に市の政策としても重要な事業を協約の目標に掲げている。 <p>（碓井委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協約目標を達成できなかった場合はどのような取扱いとなるのか。 <p>（事務局）</p>

	<p>・特にペナルティがあるわけではないが、協約目標と達成状況、評価は議会報告を するとともに、広く市民に向けて公表していく。</p> <p>3 所管局、団体への確認事項について 以下、確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（協約等（素案）の「公益的使命の達成に向けた取組」にある）②「高齢者支援」 や③「精神障害者支援」は指標が限定的になっている様に思えるが、これを達成 する事で、どの様に団体の経営向上に繋がるのかを教えてほしい。
	<p>[議題2] 社会福祉法人横浜市社会福祉協議会</p> <p>1 総合評価等の実施について （事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合評価シートに基づく自己評価について説明 ・変更協約等（素案）について説明 <p>2 委員からの意見・確認事項 （治田委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次期協約に向けては、「企業の地域貢献活動への相談・提案件数」のような目標 ではなく、団体自身の経営向上に係る目標を設定した方が良い。 <p>（確井委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資金収支計算書（法人全体）の23億円の助成金支出について、支払先や助成 内容を確認してほしい。 <p>3 所管局、団体への確認事項について 以下、確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資金収支計算書（法人全体）の23億円の助成金支出について、支払先や助成内容 を確認してほしい。
	<p>[議題3] 公益財団法人横浜市資源循環公社</p> <p>1 総合評価等の実施について （事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合評価シートに基づく自己評価について説明 ・協約等（素案）について説明 <p>2 委員からの意見・確認事項 （田邊委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGs への取組について調査研究を進めることで市に貢献をすべきと考えるが、 見解を教えてほしい。 <p>（戸田委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO₂を地下の中に埋めたりして、その権利を確保してそれを売るという排出権ビ ジネスがあるが、それを担当している団体というわけではないということによい か。 <p>（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その事業を行う団体ではない。

	<p>(鴨志田委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年課題になっており、委員会からも指摘している新規の収益事業について、検討状況を教えてほしい。 ・人事・組織に関する取組の外部研修受講の目標は年間2名では少ないと思われるが、考え方を教えてほしい。 <p>3 所管局、団体への確認事項について</p> <p>以下、確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGs への取組について調査研究を進めることで市に貢献をすべきと考えるが、見解を伺いたい。 ・近年課題になっており、委員会からも指摘している新規の収益事業についての検討状況。 ・「人事・組織に関する取組」の外部研修受講の目標は年間2名の考え方。
	<p>[議題4] 横浜市場冷蔵株式会社</p> <p>1 総合評価等の実施について</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合評価シートに基づく自己評価について説明 <p>2 委員からの意見・確認事項</p> <p>(田邊委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の出資率を25%にするこの意味について、所管局はどう考えているかを、もう一度整理しても良いのではないか。 <p>3 所管局、団体への確認事項について</p> <p>以下、確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の出資比率低減を進める意義。
	<p>[議題5] 公益財団法人横浜市消費者協会</p> <p>1 総合評価等の実施について</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合評価シートに基づく自己評価について説明 <p>2 委員からの意見・確認事項</p> <p>(田邊委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この団体が指定管理者として運営している消費生活センターは、法令に基づいて設置されており、実施できる事業に制約がある。全国の消費生活センターにおける新たな市民ニーズに対応するような事例を研究し、新しい取組にチャレンジしてほしいというような議論がこれまでにあった。 ・社会環境の変化に伴うICT技術を活用したオンライン相談等の充実について見解を伺いたい。 <p>(治田委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「公益的使命の達成に向けた取組」において、相談解決率とあっせん解決率を目標に掲げているが、母数を教えてほしい。

	<p>・「ツイッターによる情報発信」については、リツイートによって情報が広がっていくことを期待していると思うが、発信回数のみでは目標として一方通行だと感じる。次期協約では、事業の効率や効果を測ることができる指標を設定してほしい。</p> <p>3 所管局、団体への確認事項について 以下、確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT 技術を活用した消費生活相談の充実化について、現状の取組や今後の方針。 ・相談解決率、あっせん解決率について、それぞれの件数（分母・分子）。
	<p>[議題 6] 一般社団法人横浜みなとみらい 2 1</p> <p>1 総合評価等の実施について (事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合評価シートに基づく自己評価について説明 ・協約等（素案）について説明 <p>2 委員からの意見・確認事項 (治田委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エリアの開発が進み、街に対するニーズが多様化している。そうした環境変化に伴い、団体のミッションが変わりつつある中、それが協約に反映されていない。次期協約に向けて、「次のミッション」を考える段階に来ているのではないか。団体の考えがあれば教えてほしい。 <p>(戸田委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・67 億円の投資有価証券について、内訳を教えてください。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前投資有価証券含み損により大損をした団体があり、今では原則として元本保証付き証券等のみ運用を許可している。67 億円の投資有価証券については確認する。 <p>3 所管局、団体への確認事項について 以下、確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境変化に伴い、団体の「次のミッション」を考える段階に来ていると考えるが、現時点での団体の考えを教えてください。 ・67億円の投資有価証券について、内訳を教えてください。
	<p>[議題 7] 株式会社横浜シーサイドライン</p> <p>1 総合評価等の実施について (事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合評価シートに基づく自己評価について説明 ・協約等（素案）について説明 <p>2 委員からの意見・確認事項 (碓井委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「令和 2 年度の事業報告書」の「(6) 新杉田駅人身傷害事故に関する事項」について、「今後、新杉田駅人身障害事故に伴う補償などの支出が見込まれますが、こ

	<p>れらについては、現時点では金額等を合理的に見積もることは困難」との記載があるが、今後支払義務が生じることはあるのか。巨額になる可能性があれば、財務に関する取組にも影響するのではないか。</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・怪我をされた方との交渉は概ね完了しているものの、完全に終わっていないためこのような表現になっていると思うが、確認する。 <p>3 所管局、団体への確認事項について</p> <p>以下、確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新杉田駅人身傷害事故による補償の見通し（影響が大きいのであれば、財務に関する目標にも織り込んでいるのか）。
	<p>[議題 8] 公益財団法人帆船日本丸記念財団</p> <p>1 総合評価等の実施について</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合評価シートに基づく自己評価について説明 ・協約等（素案）について説明 <p>2 委員からの意見・確認事項</p> <p>(田邊委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により有料入場者数が激減している中、協約等（素案）の「財務に関する取組」にある「利用料金収入」に関する目標は、現協約の目標値を単に小さくしたものになっており、財務の改善に繋がるとは思えない。また、「人事・組織に関する取組」の「常任理事 1 名減」は、執行体制の効率化ではなく人件費の削減に繋がるのではないかと。これら 2 点を踏まえて、「財務に関する取組」「人事・組織に関する取組」が財務の改善等にどのようにつながるのか、整合性を持たせて説明をしてほしい。 <p>(戸田委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満期保有目的債券について、購入の際の手続きや基準を伺いたい。 <p>(鴨志田委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の審議・確認事項は令和 4 年度以降の協約策定にも反映してほしい。 <p>3 所管局、団体への確認事項について</p> <p>以下、確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満期保有目的債券の購入の際の具体的な基準や手続き。 ・有料入場者数が激減している中、「財務に関する取組」にある「利用料金収入」に関する目標は財務の改善に繋がらないと考える。また、「人事・組織に関する取組」の「常任理事 1 名減」は「執行体制の効率化」よりも、人件費の抑制という要素が大きく、財務の改善に繋がると考えるが、見解を伺いたい。
	<p>[議題 9] 横浜ベイサイドマリーナ株式会社</p> <p>1 総合評価等の実施について</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合評価シートに基づく自己評価について説明

	<ul style="list-style-type: none"> ・協約等（素案）について説明 <p>2 委員からの意見・確認事項 （田邊委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市への財政貢献の観点から、利益を出すことに加え、株主配当の検討や寄附、市の方針としての水域使用料見直し等が必要だと思う。公益的使命の達成に向けて、放置艇対策や小型艇の停泊のためであれば現在の料金体系で良いが、大型・中型艇に対しての使用料は上げるべきと考えるが、所管局の見解を伺いたい。併せて、小型艇と大型艇の使用料単価を伺いたい。 <p>（戸田委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸借対照表について、退職給付引当金が項目としてない理由を伺いたい。 ・大型プレジャーボートの受け入れ増について、検討状況を教えてほしい。他にはない横浜特有のモデルが確立できれば市への財政的寄与も期待できる。 <p>（治田委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度民営化を取り下げた経緯から、公益的使命と協約目標が合致しているかを改めて確認することも必要かもしれない。 <p>3 所管局、団体への確認事項について 以下、確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸借対照表に「退職給付費引当金」が計上されていない理由。 ・小型艇と大型艇それぞれの使用料単価。 ・市として水域の使用料見直しが必要と考える。また、団体では大型・中型艇に対しての使用料を上げるべきではないかと考えるが、所管局の見解を伺いたい。 ・市への財政貢献の観点から、使用料を上げる、配当を増やす、寄附を行う等を考えるべきと考えるが、見解を伺いたい。
	<p>[議題10] 横浜ウォーター株式会社</p> <p>1 総合評価等の実施について （事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合評価シートに基づく自己評価について説明 ・協約等（素案）について説明 <p>2 委員からの意見・確認事項 （治田委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市の水道料金は値上げした。横浜ウォーター(株)も利益を上げ、それを市民に還元するべきと考えるが、どのように実現していくのか団体の考えを教えてほしい。 <p>（戸田委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市の高い水道技術力を活かし、他の地方自治体や途上国支援を行うことでビジネス化している当団体は注目に値する。これも立派な公益だと思う。 <p>（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政の仕事で培ったものを活用することによって利益が得られ、さらに技術の継承もできるのであれば積極的に取り組もうという市の考えから始まっている団体

	<p>だと思ふ。横浜市が 100%株式を持っているので、利益を配当してくれればモデルとして成功だと思ふ。</p> <p>(碓井委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間の売上に対して売掛金が多いが、その要因が何か教えてほしい。 <p>3 所管局、団体への確認事項について</p> <p>以下、確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間の売上に対して売掛金が多いが、その要因が何か教えてほしい。 ・株式会社として利益を上げ、それを市民に還元するべきと考えるが、どのように実現していくのか団体の考えを教えてほしい。
	<p>[議題11] 横浜交通開発株式会社</p> <p>1 総合評価等の実施について</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合評価シートに基づく自己評価について説明 ・協約等（素案）について説明 <p>2 委員からの意見・確認事項</p> <p>(田邊委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オフピークなど、JR もいろいろな工夫をして値段を変えたりしている。今後の需要に対応するためにも乗車率の均等化という考えは必要である。 ・自動運転、シェアサイクル、タクシーの活用など最新の動向を踏まえ、「市民の足を確保する」ことについてどのように考えていくべきなのか、今から次期協約に向け検討するべきと考えるが市所管局及び団体としての見解を教えてほしい。 <p>(治田委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートを取っているのか、取っていればどのような内容か教えてほしい。 <p>(戸田委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当団体がバス事業を請け負っている理由と経緯を教えてほしい。 ・バスのEV化に向けどのようなことを検討しているのか教えてほしい。 <p>3 所管局、団体への確認事項について</p> <p>以下、確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動運転、シェアサイクル、タクシーの活用など最新の動向を踏まえ、「市民の足を確保する」ことについてどのように考えていくべきなのか、今から次期協約に向け検討するべきと考えるが市所管局及び団体としての見解を教えてほしい。 ・利用者アンケートを取っているのか、取っていればどのような内容か教えてほしい。 ・当団体がバス事業を請け負っている理由と経緯を教えてほしい。 ・バスのEV化に向けどのようなことを検討しているのか教えてほしい。
	<p>[議題12] 公益財団法人横浜市シルバー人材センター</p> <p>1 総合評価等の実施について</p> <p>(事務局)</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・総合評価シートに基づく自己評価について説明 ・協約等（素案）について説明 <p>2 委員からの意見・確認事項</p> <p>（田邊委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の制度であり、制約があるため団体独自の創造性を発揮することが難しい。そのような状況で、公益的使命の達成に向けた取組の「多様な高齢者、生きがいの創出」について、「就業を通じた」という文言を入れている。会員の希望する職種と企業側が求めている職種との間のミスマッチをなくし、就労機会を多くのシニアに与えたいと真剣に考えていることが伝わった。 ・会員が、請負・委任よりも就職を望む場合もあり、そういった場合は民間企業が受け皿となる。シルバー人材センターと民間企業が連携、共存できると良いと思う。 <p>（治田委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私が関わっているソーシャルビジネスの担い手育成では、起業もするし、仲間としても働くので、より生きがいがづくりに通じていると思う。 ・シルバー人材センターについても、生きがいの分野に領域を広げるということは1つの施策としてあると考えるが、クリエイティブな提案がきちんとできたり、地域の情報を持っている必要がある。現状はわからないが、団体が地域に認知されているとよいと思う。 ・利用者満足度をはかることにより、団体の役割が見えるのではないか。 <p>（戸田委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員満足度が低いとあるが、重要な指標だと思う。課題を把握する必要があると思う。 ・総合評価を実施するにあたり、会員の属性を伺いたい。 <p>3 所管局、団体への確認事項について</p> <p>以下、確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員の属性（年齢、希望する仕事、実際に就労した仕事 等）。
資 料	<p>資料1：総合評価シート</p> <p>資料2：協約等（素案） ※「協約等」策定団体のみ</p> <p>資料3：変更協約等（素案） ※該当団体のみ</p> <p>資料4：協約変更説明書 ※該当団体のみ</p> <p>資料5：現協約の考え方 ※該当団体のみ</p>